

2018年度 京都大学経済研究所

第87回 CAPS 研究会

及び

2018年度京都大学経済研究所共同利用・共同研究拠点

「世代間の異質性を考慮した、少子高齢化の下で財政政策が日本経済に与える効果に関するマイクロデータと動学的一般均衡理論を用いた分析」研究集会

2018年10月6日（土）

於 京都大学経済研究所北館 N202 教室（吉田キャンパス）

開会の辞 10：30

第1報告 10：30～11：15

鎌田泰徳（財務省財務総合政策研究所）

「日本の財政リスク顕在化に対する早期警戒指標の構築と財政の脆弱性の考察」

第2報告 11：15～12：00

服部孝洋（財務省財務総合政策研究所）

「財投機関債のスプレッド分析」

閉会の辞 12：00